

事業所名

児童デイサービスセンターたんぽぽ

支援プログラム

作成日

2024年

9月

2日

法人（事業所）理念		ご利用者の立場に立った支援、ご家族の安心につながるサービスを常に心掛け、ご利用者の生きがい・喜びのあるくらしの実現を目指します。							
支援方針		各児童の状況を下記の5領域の視点から総合的に分析し、家庭環境を勘案した上で保護者の要望を考慮したサービス計画を策定し、それぞれの児童に適した支援を行う。 支援に当たっては、①各児童の課題や目標の明確化、②一人ひとりの人格の尊重、③保護者の要望や苦情に対する真摯な対応 を基本姿勢とする。							
営業時間		*平日	8時	30分	18時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
		*土曜日	8時	30分	16時	0分			
支援内容									
本人支援	健康・生活	*健康状態把握のため、登園時に体温チェック及び目視による健康チェックを行い、心身の安定が維持できるよう支援する。 *学校での状態を把握するため、担任教諭との連携を図り、情緒安定ができるよう支援する。 *面談、連絡帳や電話等を通じて、保護者との連携を密にし、安定的に登園することで、生活リズムが維持できるよう支援する。 *衣類の着脱、食事やおやつ摂取、トイレ介助等の支援を通じて、生活技能の向上と生活リズムの形成・安定を図る。							
	運動・感覚	*遊具、運動用具等を活用した遊びを通してバランス感覚や運動能力の向上を図る。 *パズル遊びや飾り制作を通して、視覚、触覚等を刺激し、感覚機能の向上を図る。 *散歩や外出を通して身体機能の強化を図るとともに、季節ごとの匂い、色、温度等を体感することで5感の感性を養う。							
	認知・行動	*パズル遊びや飾り制作を通して、形・色・大小等の違いに気付かせ、認知機能の向上を図る。 *タブレットゲーム等を通じて、状況の変化を認知し、その変化に対応する能力の向上を促す。 *1日のスケジュールを視覚化することで、時間認知の形成を促す。							
	言語コミュニケーション	*各児童の能力に応じて、指差し、絵カード、ジェスチャー、言葉掛け等による働きかけを積極的に行い、コミュニケーション能力の向上を図る。 *言葉カード遊びやしりとり遊び等のゲームを通して、言語能力の向上を図る。 *歌絵本やタブレットゲーム等、言葉や音による刺激により、言語に対する興味や理解を促す。							
	人間関係・社会性	*職員とのコミュニケーション、小集団でのゲームや活動を通して、人との関わり方・接し方を学ぶ機会を提供する。 *買物学習や外食の機会を提供し、社会的体験の積み重ねを図る。 *夏休み等に公共施設を利用する機会を提供し、大勢の人が活動する中ではいろいろなルールがあるということを理解できるよう促す。 *希望があれば、同じ建物内で実施している就労系事業の見学や体験の機会を提供する。							
家族支援		*連絡帳や面談等により、ご家族の希望や思いの把握に努める。 *ご家族に特別な事情が生じた場合、必要に応じて、延長支援や日中ショートの対応を検討する。			移行支援		併設する就労継続支援事業所や生活介護事業所の見学機会を提供する。		
地域支援・地域連携		特別支援学校との連携、併用事業所との連絡調整を行う。			職員の質の向上		毎月支援会議を実施するほか、虐待防止等内部研修を実施。 また、外部研修にも積極的に派遣していく。		
主な行事等		外出活動、ドライブ、買物学習、外食体験、公共施設利用、クリスマス会、書き初め、ゲーム大会、避難訓練							